

IDE
TOPIC
REPORT

2002.2

「テロ」と「戦争」のもたらしたものの

——中東からアフガニスタン、東南アジアへ——

酒井啓子編

No.45

「テロ」と「戦争」のもたらしたもの

——中東からアフガニスタン、東南アジアへ——

酒井啓子編

訂 正

第4章「展開する国際・地域情勢とイラン」第1節の以下の文（p.36 最終行～p.37 第1行）に、編集上の不手際による誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

「…導師のエマーミー＝カーシャーニ師が演説で…この日は礼拝者たちも、1979年の革命以来の「アメリカに死を」のスローガンを叫ぼうとはしなかった。」の二文を、以下の文と差し替える。

「…導師のエマーミー＝カーシャーニ師が演説で、米国でのテロ事件を非難する立場を繰り返し、礼拝者の間からは、1979年の革命以来、初めて「アメリカに死を」のスローガンが叫ばれることがなかった。」

CONTENTS

エグゼクティブ・サマリー

第1部 紛争当事国とその周辺

第1章	ターリバーンと「テロリスト」たちの邂逅田中浩一郎	03
	はじめに.....	13
	第1節 危惧された展開.....	14
	第2節 ターリバーンの内部構造とその崩壊の要因.....	17
	おわりに.....	10
第2章	アフガン情勢とパキスタン井上あえか	13
	はじめに.....	13
	第1節 同時多発テロからアフガニスタン空爆へ.....	14
	第2節 パキスタンによるターリバーン支援.....	15
	第3節 アフガニスタン政策の転換.....	17
	第4節 カーブル陥落とパキスタンの思惑.....	19
	第5節 ターリバーン後とパキスタンへの影響.....	20
	おわりに.....	21
第3章	インド：パキスタンが最大の標的井上恭子	23
	はじめに.....	23
	第1節 インド・パキスタンの対立の構造.....	24
	第2節 9月11日とインド.....	27
	第3節 アフガニスタン空爆開始前後.....	29
	おわりに ターリバーン後のアフガニスタンとインド・パキスタン... ..	32
第4章	展開する国際・地域情勢とイラン松永泰行	35
	はじめに.....	35
	第1節 米中枢同時テロ事件に対するイランの反応.....	36
	第2節 イランをめぐる外交攻勢とイラン政府の対応.....	40
	第3節 アメリカの「対テロ戦争」とイラン.....	41
	第4節 イラン内政と米・イラン関係への影響.....	44
	おわりに.....	47



第5章	中央アジア諸国における米軍のプレゼンス 歴史的チャンスか、新たな紛争の種か	岡 奈津子 51
	はじめに	51
	第1節 中央アジア諸国の対米・対口関係	52
	第2節 アメリカの戦略的パートナーの地位をめぐる競争	55
	第3節 中央アジアにおけるイスラーム勢力の動静	57
	第4節 米軍のプレゼンスがもたらすもの - 2つのシナリオ	58

第2部 「イスラーム」世界への連鎖

第6章	「テロ」と「報復」のはざままで アラブ・イスラエル紛争への波及	青山弘之 63
	はじめに	63
	第1節 中東和平プロセスの経緯：1990年代以降を中心に	64
	第2節 「テロ」と「反テロ」をめぐるイスラエルとパレスチナの対応	68
	第3節 「反テロ」に対するアラブの立場：ヒズブッラーとシリアを中心に	72
	第4節 中東和平問題の「国際性」	75
第7章	サウディアラビア：矢面に立つ親米湾岸産油国 ...	酒井啓子 83
	はじめに	83
	第1節 テロ事件に関する湾岸産油国の対応	84
	第2節 米メディアによるサウディ・バッシング	88
	おわりに	92
第8章	エジプト外交とアフガニスタン空爆	池内 恵 93
	はじめに	93
	第1節 外交・内政の連関構造	94
	第2節 アフガニスタン戦争とエジプト外交	98
	おわりに	103

第9章	9・11テロ事件とアメリカの対イラク政策	酒井啓子	105
	はじめに		105
	第1節 同時多発テロ後のアメリカの対イラク姿勢		105
	第2節 国連による対イラク制裁の強化と変質		108
	第3節 UNMOVICの受け入れを巡る対立		111
	おわりに		113
第10章	揺れるトルコ 義務と世論と国益と	間 寧	115
	はじめに		115
	第1節 政府の対アメリカ支援		116
	第2節 世論と経済		117
	第3節 イスラーム派勢力とアル=カーイダのつながり		119
	第4節 政府の今後の対応		120
第11章	対米テロとアフガニスタン空爆のマレーシア政治への影響	中村正志	125
	はじめに		125
	第1節 対米テロとアフガニスタン攻撃への反応		126
	第2節 国内政治への影響		131
	おわりに		138
第12章	インドネシア：国際協調と国内政治社会安定との難しい舵 取り	松井和久	141
	はじめに		141
	第1節 アフガニスタン空爆前の反応		142
	第2節 アフガニスタン空爆後の反応		144
	第3節 イスラーム強硬派と国際テロ・ネットワーク		146
	おわりに		149



[現地語のカタカナ表記について]

現地語のカタカナ表記は原語にできるだけ近いと思われる表記を採用した。このため、日本のマスコミで一般に採用されている表記とは異なる場合がある。代表的な例を下記に掲げる。

一般的な表記	本書での表記
[アフガニスタン関連]	
カブール	カーブル
タリバン	ターリバーン
オマル師	ムッラー・ウマル
オサマ・ビンラディン	ウサーマ・ビン・ラーディン
アルカイダ	アル＝カーイダ
ラバニ	ラッバーニー
[パキスタン関連]	
ムシヤラフ	ムシヤッラフ
ブット (元首相)	ブットー
[インド関連]	
バジパイ (首相)	ヴァジュペイー
[イラン関連]	
ハタミ (大統領)	ハータミー
ハメネイ (最高指導者)	ハーメネイー
[パレスチナ・レバノン関連]	
アラファト	アラファート
ヒズボラ	ヒズブッラー
[エジプト関連]	
ムバラク (大統領)	ムバーラク

本リポートに掲載されている論文等で表明されている見解は執筆者個人の見解であり、日本貿易振興会アジア経済研究所の見解を代表するものではない。

執筆者

酒井 啓子 さかい けいこ	
アジア経済研究所 地域研究第2部 副主任研究員	エグゼクティブ・サマリー、第7章、第9章
田中浩一郎 たなか こういちろう	
(財)国際開発センター 主任研究員	第1章
井上あえか いのうえ あえか	
東京大学非常勤講師	第2章
井上 恭子 いのうえ きょうこ	
アジア経済研究所 研究コーディネーター	第3章
松永 泰行 まつなが やすゆき	
日本大学 国際関係学部専任講師	第4章
岡 奈津子 おか なつこ	
アジア経済研究所 地域研究第2部	第5章
青山 弘之 あおやま ひろゆき	
アジア経済研究所 地域研究第2部	第6章
池内 恵 いけうち さとし	
アジア経済研究所 地域研究第2部	第8章
間 寧 はざま やすし	
アジア経済研究所 地域研究第2部 副主任研究員	第10章
中村 正志 なかむら まさし	
アジア経済研究所 地域研究第1部	第11章
松井 和久 まつい かずひさ	
アジア経済研究所 地域研究第1部	第12章

アジア研トピックリポート No.45
「テロ」と「戦争」のもたらしたもの

●
2002年2月4日発行

●
発行所 = 日本貿易振興会アジア経済研究所
〒261-8545 千葉県千葉市美浜区若葉3-2-2
電話 = 043-299-9521 FAX = 043-299-9724
制作 = 三陽社

●
無断複写・複製・転載等を禁じます。

IDE-JETRO



ISBN4-258-26024-X